



[CLUB OFFICE] 京都 Y M C A 〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 ☎ (075) 231-4388

**Bulletin**  
2017. 11. 1 発行  
第37巻 第5号  
通巻412号



今月の聖句

主よ、あなたはどなたですか」と言う、答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。起きて町に入れ。そうすれば、あなたのなすべきことが知らされる。  
新約聖書 使徒言行録 9章5節6節

会 長 / 田 中 升 啓  
副会長 / 五十嵐由紀  
田 中 雅 博  
書 記 / 瀬 本 純 夫  
山 口 雅 也  
会 計 / 左 近 宏 崇  
橋 森 昌 史

**クラブ主題**

## 絆の力で越えていこう!!! ～一人よりふたり、二人より全員で!～

- 国際主題: I P Henry Grindheim (ノルウェー) "Let us walk in the Light-together." 「ともに、光の中を歩もう」
- アジア太平洋主題: A P Tung Ming Hsiao (台湾) "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 西日本区主題: R D 大野 勉 (神戸ポート) 2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」"Healthy mind & healthy body make healthy club"
- 京都部主題: D G 竹園 憲二 (京都ZERO) "All Hands on Deck!"
- メネット主題: RSD 中道 京子 (神戸) 「生きる! 希望を分かち合いながら」"Live, sharing hope!"

### 【10月報告】

西日本区  
強調月間

11月 Public Relations Wellness  
ワイズデーをPRして、ワイズメンズクラブの社会的認知度を高めましょう! そして、EMCやクラブ活性化に繋げましょう!  
伊藤 剛 西日本区 広報・情報委員長 (京都トゥービークラブ)

年間強調  
目標PR

ワイズメンズクラブの活動をホームページ・ブリテンでクラブ内外の人達に事あるごとにアピールしましょう!  
伊藤 剛 西日本区 広報・情報委員長 (京都トゥービークラブ)



在籍者数 37名  
広義会員 1名  
第一例会 31名  
メネット 0名  
特別メネット 0名  
ゲスト 1名  
第二例会 33名  
メネット 0名  
ゲスト 1名  
出席率 100%



切手累計 0g  
現金累計 0円  
E F 0円  
J W F 0円  
EF・JWF累計 0円



第一例会 7,000円  
第二例会 6,000円  
合 計 13,000円  
ニコニコ 85,000円



おつりファンド 1,186円  
ふれあい打ち上げ 12,890円  
パンファンド 1,000円  
ベテス打ち上げ 3,524円  
合同委員会 6,000円  
ワイズデー打ち上げ 8,000円  
コンサートチケット 2,000円  
合 計 34,600円  
集 計 102,152円



献 血 0cc  
成分累計 0名  
成分累計 0名



第一例会 4,179円  
第二例会 4,761円  
合 計 8,940円  
130周年募金 141,537円

**東日本大震災復興・支援募金**

第一例会 3,133円  
第二例会 3,895円  
合 計 7,028円  
集 計 20,558円

## 広報・ブリテン委員長として

広報・ブリテン委員長 宮崎 順 巳



入会して1年と少しが経ちました。今期は田中升啓会長からブリテン委員長を任せていただき、嬉しいと思う反面、入会して間が無かったこともあり、不安なままにスタートを切りました。少しでも不安を解消しようと、今までのブリテンを纏めた冊子を読み、予習をしようとしたのですが、完成したものに目を通して仕事の内容がよく分かりません。その上、〇〇さん若い、メンバーコラム面白い、と途中から遊んでいることに気付き、読むのをやめました。

委員会での引継で皆さんの説明を聞いてもよく分からない。それでも、今まで親切にしていたいただいたのだから、自分にできるだけのことはやってみようと思えました。

何をすればいいのかわからないけれど、写真を撮らないといけな。とりあえず、出られる行事にはなるべく出る、を心がけ、今はまだ5ヶ月目。例会出欠予定も以前と比べると出席の黒字が目立っています。今までは休みの日にごろごろとしている事が多かったのですが、最近はクラブを理由に外に出ていくことが増え、しんどいけれど充実しているなど感じるが増え、行事に出れば出る程、メンバーの方と顔を合わす機会も増え、楽しくなり、居心地が良くなり、キャピタルクラブに対する気持ちが前向きになったのを感じます。

ブリテン委員長にも慣れてきたかなと思うこともありますが、忘れていた、と慌てることもあり、まだまだ自分に自信が持てません。ですが、ブリテン委員会の皆様、メンバーの皆様にお力添えをいただき、11月号まで発行することができました。いつも有難うございます。

来年6月までブリテン委員長として頑張っていきますので、これからも宜しくお願い致します。

**聖句の解説**

初期キリスト教において大きな働きをした伝道者の一人にパウロという人がいます。パウロは、もとはサウロと言ひ熱心なユダヤ教徒で逆にキリスト者を迫害する人物でした。そのサウロがイエスに出会い、イエスの教えを世界中に述べ伝える者へと変えられたサウロの回心の場面です。キリスト教が世界中に広がっていったのはイエスと出会い、人生の大転換を迎えたパウロのような人たちがたくさんいたからなのです。ちなみに「目からうろこが落ちる」というのはこのパウロの出来事から生まれた諺です。

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

## 音楽の力を実感

副会長(ドライバー担当三役) 五十嵐 由紀

今回は「NPO 法人音楽療法ゆる〜り」より代表理事の松下容子様をはじめ4名の方をお招きし、日頃の活動内容である“障がいを抱える子ども達のための音楽療法きょうしつ”等のお話を、演奏も交えた形で頂きました。

オープニング曲の「Close To You (カーペンターズ)」がキーボード・サクソ・ギター・トランペットで奏されると、会場の空気がふうっと和らいだので、改めて“音楽の力”を感じつつ、皆様の素晴らしい活動にも目頭が熱くなりました。

またこの日、今期初のメンバーゲストとして森口壽也様にもお越し頂きました。紹介者の椿森さんとは「ボーイスカウト」を通じてのお知り合いとのこと、今も奉仕活動をされているそうなので、またご一緒できるといいなと思いました。

後日、松下様のブログと森口様のフェイスブックを拝見させて頂き、例会のことが載っており“ゲストにも喜んでいただけた素敵な例会になったな”と思い返していました。



松下容子さん



## 文化は伝統文化と若者の創造性との コラボレーションで発展!!

ドライバー委員 菅原 縦一



蔭山陽太さん

当日は、めっきり涼しくなり、秋を感じさせるなか、田中升啓会長の開会点鐘で始まりました。会長挨拶では、先ごろ受賞者の発表がありましたノーベル賞についてお話がありました。ダイナマイトを発明し、巨万の財をなしたノーベルが自らを成功者として、誇りに思っていたところ、世の中からは“死の武器商人”として批判されていることを知り、改めて、ノーベル賞を創設し、世の中に貢献すること

に思い至ったということでした。周りの人の意見、評価に真摯に耳を傾けながら、会長として真に評価してもらえよう頑張りたいとの意気込みを述べられました。

本日のゲストスピーカーは、ロームシアター京都 支配人、蔭山陽太様です。お話は二つに分かれていました。前半は、ロームシアター京都についてです。50年の長きにわたって京都の文化を支えてきた京都会館を、発展継承するため、世界に通用する劇場に改修されました。舞台設備を刷新し、今まで行えなかった大規模で本格的なバレエ、オペラ、ミュージカルも上演できるようになりました。又、ブック&カフェやレストランを設け、公演のない時にも、憩と交流の空間として利用できるようになりましたということでした。

後半は、京都駅の東南部にあたる東九条に、新しい小劇場『Theatre E9 Kyoto』を造るというお話でした。蔭山様によれば、京都の伝統芸能、能、狂言などが、今日でも残っているのは、いつの時代にも“新しい価値を創り出す”若い人達がいて、またそのような“場”があったからだということです。今、京都では、そのような若い人達が活躍できる“場”、小劇場が絶滅の危機に瀕しているということです。そのため、蔭山様達が、

新しく小劇場『Theatre E9 Kyoto』を、東九条に設立するプロジェクトを進めておられ、広く皆様からの寄付も募集されておられます。

本日の例会は、文化、伝統文化、若い人達の創造性などについていろいろと考えさせられる素晴らしい例会でした。メンバーゲストの加畑エリ子様、次回ご出席を願っております。



# 人生の節目

## 仕事のこと

瀬本純夫

大学を出てから、すぐにメーカーの研修で半年間の東京生活は、自宅以外での生活のなかった私にとって、とても新鮮で、同じ立場の人間が40人ほど集まり、厳しくも、楽しい期間でした。仕事の基礎を学び、商品勉強と、それなりに忙しく過ごしておりました。

その期間の中で、東京の販売店での研修では、店頭での接客、納品、据え付け工事等と、実際にお金をもらう仕事を体験させていただきました。

接客時に「おおきに、ありがとうございました」と言った時に、すっごく不思議そうな顔で見られたことを覚えています。

その期間は数カ月と短い時間ではありましたが、そこでのお店の人、メーカーの営業の人たちとの出会いによって、電気屋さんというものを教えていただいたように思います。

32年たった今、まだまだ自分であると思っていますが、今出会っている人たちに刺激をもらいながら、前に進んでいければと思います。クラブメンバーの皆様、今後とも、宜しくお願いします。

## 人生五十功なきを愧ず<sup>は</sup>※

森常夫

私はもう76歳、私の人生を人に話す事はありませんが、50歳で独立してこれまでの10年間、事業が順調であったにもかかわらず、後継者を育てなかったために16名の社員と「株式会社モリツネ」を他の関連会社に売却した事が大きな出来事でした。誠に残念でした。

その後75歳で相談役を降り、新しく事業を興す事にした時、大腸癌で1週間の入院をするはめになり、気が折れそうになりました。

しかし、気を取り直して新しい事業に再挑戦して発展させたいと思っています。併せて以前行っていた山登りにも挑戦していきたいものです。

キャピタルクラブの活動には積極的に参加して、自分を磨き「人生80年」を目指そうと思っています。

※「五十にもなって何の功績もなくお恥かしいかぎりです」という謙遜の言葉で、室町幕府の管領であった細川頼之が職を辞して剃髪した際につくった詩の一節。

細川頼之 (1329 ~ 1392)

11歳で将軍職を継いだ義満を補佐、管領として幕政を指導した。

## 第32回 京都 YMCA ふれあい広場 盛会のうちに終わる

EMC委員 勝山 廣一郎

2017年10月1日(日) 快晴

午前8時30分三条京阪集合、視覚障がい者の皆さんと手引きの人達、見守り役のメンバーと全員揃った所で行程の説明がそれぞれ移動。

約1時間京阪電車東西線經由浜大津駅に到着。

浜大津港にて豪華客船「ミシガン」に乗船して約80分のクルージング。船上デッキでは初秋の琵琶湖からの爽やか風が心地よく感じられ、船内ではエンターテイナーによる音楽の演奏あり、楽しい時間を過ごしました。

昼食は琵琶湖ホテルでイタリアン料理が準備されていました。

田中升啓会長、八木悠祐CS委員長、京都YMCAこおろぎの岡本都さんよりご挨拶がありました。

料理内容はホテルスタッフの方より一品一品の丁寧な説明があり十二分に堪能いたしました。

食後、近隣を散策、アークス広場にて集合し閉会の挨拶のあと浜大津駅にて解散となりました。

今回、企画をされました、京都YMCAこおろぎ、キャピタルクラブCS委員会の皆様、ご苦労さまでした。感謝申し上げます。

参加者 京都YMCAこおろぎ、視協リスナー、メン・メネット・コメント 78名

※ミシガン(大型外輪船)は1982年就航、滋賀県と友好姉妹都市(1968年提携)であるアメリカ、ミシガン州との国際親善を祈念してミシガンと命名されました。



## BETE-TUDA 祭り

副会長(交流・ファンド委員) 田中 雅博

快晴の10月8日(日)に、名称も内容も一新した「BETE-TUDA 祭り」が開催されました。名称の由来は、ベテスダの家のBETEと、ベテスダの家がある津田町のTUDAを合体させたものとのことです。

集合時間の9時になると、どんどんとキャピタルメンバーが集まり、まずはメネットさんを中心に焼きそばの材料の準備です。さすがの手際ですぐに準備が完了し、そのころになると他の料理の材料も揃ってきました。

今回のテーマは「肉フェス」で、全部で8種類の肉料理を提供しましたが、飲み物販売を含めてキャピタルのメンバーで全ての調理と販売を担当しました。当初聞いていたより持ち場が増えたこともあり、急にメンバーの担当を変更しましたが、そこは手慣れたキャピタルメンバーです。すぐに対応してこれまた手際よく料理を提供し、13時頃にはほぼ完売しました。

周辺道路を通行止めにして、近隣の方々に楽しんでいただくことを目指して行われた今回のBETE-TUDA祭りも大盛況のうちに終了し、我々も心地よい汗をかけた一日でした。



左近遼太コメントの一言です。

「実際にお金を使って、お店が出来て楽しかったです。」



## 2017年京都部ワイズデー

地域奉仕・環境委員長 八木 悠祐

10月14日土曜日、小雨の降る中2017京都部ワイズデーが開催されました。

午前中は阪急西院駅で募金、午後からは西京極スタジアムでサッカー観戦というスケジュールでワイズメンズクラブの広報活動を行いました。

今期、キャピタルクラブより金原PR委員長を輩出し、その金原PR委員長が中心となり進めて来られた企画で、京都部全クラブの力を結集しての大きなイベントとなりました。

当日は、京都部の多くのワイズメンが御揃いのマフラータオルを首に巻き、スタンドでの観戦、またハーフタイムパレードに参加しました。被災した熊本YMCAのサッカーチームの少年も参加いただき、ワイズメンズクラブの活動の良い広報になったと感じております。

キャピタルクラブからも3週連続のCS事業にも関わらず、多くの皆様にご参加いただき非常に盛り上がった事業となりました。また当日の参加が叶わないにも関わらず、チケットのご協力をいただきました皆様にも合せまして御礼申し上げます。

これで、秋のCS事業はひと段落いたしました。今後も献金やメタセコイヤフェスティバルがごございますので、引き続きご協力の程よろしくお願いたします。



## 『ワイズデー』へのご協力 ありがとうございました!

京都部PR委員会 委員長 金原 弘明

今期、京都部PR委員会委員長としての最大のコミットであったワイズデーを無事終えることができました。

昨年の丁度今頃、次期に京都部の数の力を発揮できる事業を行いたいとの思いを竹園次期部長(当時)より聞かされてはいましたが、まさかその事業の取りまとめをここまでやらなくてはならなくなるとは、正直、思ってもいませんでした。

実はこの事業は元々は熊本震災復興支援募金をなるべく多くの場所で、なるべく多くの参加者で行おう、できれば西日本区の他部も巻き込んで……という立案から出発しました。

その企画が時を経て最終的にはサッカー観戦という楽しみを得ながら、熊本震災復興支援、ワイズメンズクラブのPR、各クラブの支援先への地域奉仕活動、九州部と京都部・ワイズとYMCAの繋がり・結びつきの強化という様々な側面を持つイベントとして育っていき、成功裏に終えることができたことは、本当に大きな意味があったのではないかと考えています。

そして、私は今回このイベントを通して「部の事業」としての意味を何回も考えさせられました。今回の事業を行うことができたのは、京都部全クラブにご協力いただいたことであることは明白です。これは「部の事業」であったからこそ実現できたのだと思います。次期以降も形は変わるかもしれませんが、「部の事業だからこそできること」の意味は失うこと無く事業を継続していただければ願います。

最後になりましたが、京都サンガご担当者、京都YMCA、京都YMCA活動委員会及び熊本YMCAの関係者の皆様、サッカーチームの子どもたち、小田九州部部長を始めとする九州部の皆様、京都部全クラブの会長を始めとする関係者の皆様、京都部役員の皆様、そして当日お手伝いいただいたキャピタルスタッフの皆様、挙げだしたら切りがありませんが、本事業にご協力頂きました全ての皆様へ、心より感謝を申し上げ、私のワイズデー報告とさせていただきます。

皆様、本当にありがとうございました!!



## 子供たち「京都、サンガ…勇気もらった」 復興支援、ロアツソ熊本戦を観戦



サッカーの京都サンガ-ロアツソ熊本戦を観戦した熊本の子どもたち。ハーフタイムでパレード行った=京都市右京区の西京極スタジアム

昨年4月の熊本地震で被災した子供たち15人が、西京極スタジアム（京都市右京区）で14日に行われたJ2の京都サンガ-ロアツソ熊本戦を観戦した。ハーフタイムにはピッチでのパレードにも参加した。

ボランティア団体・ワイズメンズクラブ京都部（京都市）が京都サンガの協力を得て招待。試合前にはJR京都駅などで募金活動も行い、熊本YMCAを通じて集めた36万4573円を被災者に贈るといふ。

ハーフタイムのパレードに参加した熊本市立向山小6年、竹中温人（はると）君（12）は「初めての体験で緊張したが、仲間と一緒にプロが試合をしているピッチで行進できて、いい思い出になった」と喜んだ。

企画した京都部・竹園憲二部長（52）は「これからも支援を続けていきたい」と話していた。

## ジャガイモファンド

書記（地域奉仕・環境委員） 山口 雅也

10月15日（日）午前5時半。ザーツという雨音とともにヘッドライトを点灯しジャガイモの受け渡し場所、五条七本松へと向かいました。（……といっても私の自宅からは2～3分の道のりですが……）服装は上下ゴルフのレインウェア。キャップ着用と完全防備です。既にファンド委員の皆さんやメンバーも集まり、雨の中のワイズポテト・かぼちゃの荷受配達が始まりました。

昨年からの交通事情も鑑み、自動車をトラックに横付けせず、縦列に車を並べ、その横に長いパケツリレーならぬ、「ジャガイモリレー」の隊列が生まれ、メンバー全員が息のあった流れ作業でそれぞれの車に積み込みをしていきました。

積み込みの順番や配車、配達人足の手配などの確かな指示が



ファンド委員さんから飛び、このいつもとは異なる悪天候の中、皆が一丸となって作業は進められました。

今回ジャガイモ荷受初参加の宮崎さんは「大型ワゴン車のレンタカー」を駆って登場です。勝手が分からない中、最善の準備をされている様子を見て、その人柄を垣間見るひとコマでした。

いつもより少し時間はかかりましたが、無事終了。雨も小止みとなり、軽食をいただき、記念撮影ではいつもの笑顔。皆様おつかれさまでした。

## YMCA NEWS

第5回 The Y cup 京都ミニバスケットボール大会  
協賛広告お申込み受付開始

2014年に、京都YMCA125周年と京都バスケットボール紹介100年を記念して始まったThe Y cup 京都ミニバスケットボール大会は、今回で第5回を迎え、来年3月17日（土）、18日（日）に開催されます。

この大会は皆様からの協賛広告料を基に運営され、得られた収益を経済的に困難な子ども達が京都YMCAのプログラムに参加するための支援金「子ども支援基金」に積み立てられます。バスケットボールに懸命に取り組む子ども達を応援することが、より多くの子ども達の豊かな成長を支えることに繋がる支援です。ご協力お願いいたします。

## オータムフェスタ

日 時 11月19日（日） 午前11時～午後3時  
受付開始：午前10時30分

場 所 京都YMCA リトリートセンター  
参加費 大人（中学生以上） 2,000円  
小学生 1,000円／幼児 無料

※京都駅、JR宇治駅、京阪宇治駅より無料送迎バスあり。

## YM・YW 合同祈禱週集会 インドから学ぶ ～子ども達一人ひとりを育むために～

インドのダリットという人々のことを知っていますか。ダリットとはカースト制度の外に置かれた人々のことで、アウトカーストとも呼ばれます。Murugan Kalirathnam さん（カリさん）は自らもダリットとして、幼少期に様々な体験をされました。現在はインド社会の隅に追いやられるダリットはもちろん、少数民族や障がいをもつ多くの子ども達や女性のために活動をされています。

日本でも子ども達を取り巻く環境が変化し、6人に1人が貧困とされ、家庭における暴力、学校でのいじめなど、私達はさまざまな課題を抱えています。カリさんの経験を通して、私たちが日本社会で子ども達を慈しみ育むために何ができるのか、一緒に考えてみませんか？

**日時** 11月25日(土) 午後5時30分～8時

**場所** 京都 YWCA ホール  
(京都市上京区室町通水上ル近衛町 44)

**参加費** 500円(軽食代含む)

**お問合せ・お申込み** 京都 YMCA まで 11月17日(金)までに  
電話、メールまたは FAX にてお申し込みください。

京都 YMCA (TEL) 075-231-4388 / (FAX) 075-251-0970  
(E-mail) kyoto@ymcajapan.org

## 》 耳よりニュース 《

◦ 7月20日、前京都 YMCA 総主事で当クラブの連絡主事だった日本 YMCA 同盟総主事の神崎清一さんの転入式が、東京西クラブで行われました。

◦ 2018年国際大会・IYC2018

**場所** 韓国ヨス

**日程 国際大会** 2018年8月2日～5日

**IYC2018** 2018年7月30日～8月5日

<http://ysmen.org/Page/38004> をご参照ください。

## HAPPY BIRTHDAY

メン 金原 弘明 11月3日 大山 孜郎 11月28日

メネット 安部 智子 11月20日

コメット 椿森美瑠紅 11月18日

## HAPPY ANNIVERSARY

香山 章治・慶 子 ご夫妻 11月12日

柳 慎司・早知子 ご夫妻 11月18日

宮崎 順巳・早 希 ご夫妻 11月18日

仁科 保雄・節 子 ご夫妻 11月25日

## 第4回 役員会議事録

2017年10月24日(火) 19:00～20:45  
ウェスティン都ホテル京都 平安の間

### 〈西日本区・京都部報告〉

びわこ部会 11月5日(日) ウッディパル余呉/ウェルクラブ  
チャリティゴルフコンペ 11月5日(日)/5クラブ(セン  
チュリー・エイブル・みやび・東稜・ウェル)合同例会 11  
月22日(水)

### 〈YMCA 報告〉

九州北部豪雨支援募金 10月2日 10万円を YMCA にお渡し。

### 〈三役会報告〉

次々期会長の件

### 〈各事業委員会報告〉

#### • YMCA サービス・ユース事業委員会

Yサアワの件:中村主事、YMCA リーダー3名のスピー  
チ/クリスマスロビーコンサート:ゼスト御池にて開催。  
3公演/Yカップバスケット大会:焼きそばの食事提供。

#### • YMCA リトリートセンター特別事業委員会

わんぱくチャレンジクラブ 11月12日(日) 地下鉄石田駅  
～リトセンへの徒歩プログラム 給水ポイント、食事提供  
/リトセンオータムフェスタ 11月19日(日) 飲料販売

#### • 地域奉仕・環境事業委員会

ふれあい広場、BETE-TUDA 祭り、京都部ワイズデーの  
開催報告

#### • ドライバー事業委員会

開催済み例会の報告/11月以降～新年例会までの例会内  
容の確認

#### • 交流・ファンド事業委員会

年内のファンド事業の報告。合同委員会について/DBC  
について、ゴルフ交流会は今回はナシとなる。/IBC 国際  
CS 事業へのお誘い(台北アルファクラブ) 12月中旬

#### • 広報・ブリテン事業委員会

11月号・12月号の骨子の確認。/東京クラブとのブリテ  
ン上での交流について

#### • EMC 事業委員会

会員拡大のリーフレットの印刷について/10月メンバ  
ーゲスト:森口壽也さん(椿森さん紹介) 加畑エリ子さん(田  
中会長紹介)

### 〈審議事項〉

• 荒川智加依さん退会に関して:慰留を試みるが退会の意思は  
固い。 承認

• 山口雅也さん 次期京都部 EMC 主査委嘱の件 承認

• 次々期会長に西川欽一さん推挙の件 承認

### 〈その他〉

次回三役会 2017年11月22日(水)19:00～

次回役員会 2017年11月28日(火)19:00～

### 編集後記

ふれあい広場、BETE-TUDA 祭り 2017、ワイズデーにじゃがいもファンドと沢山の行事に参加させていただきました。どの行事もそれぞれ大変でしたが、充実した1日を過ごさせていただきました。じゃがいもファンドに参加した日は、1日がとても長く感じ、いつもならダラダラと過ごす時間から頭も冴えていて、少し得をしたような気がしました。11月はオータムフェスタとわんぱくチャレンジがあります。またまた初めて参加の行事ですので、楽しみたいと思っています。

広報・ブリテン委員長 宮崎順巳

